

第17回 西区福祉大会

令和7年11月6日(木)、堺市西文化会館(ウェスティ)において第17回西区福祉大会を開催しました。参加者の皆さまの歌声で、会場は大盛り上がりでした。



8
ページにも
掲載！

投稿欄

西区平岡校区親和会では、2025年3月の役員会で承認され、4月から「むつみ会」と「ゲーム部」が発足いたしました。会館の使用も町会のご厚意で無料です。

「むつみ会」は主に月1回のカラオケですが、歌の上手な人ばかりではなく、カラオケの苦手な人も上手な人と一緒に

平岡

楽しく脳活

歌ったり、教えてもらったり、コンサートに行かなくても上手な人の歌に聞きほれ、老人クラブや自治会のカラオケ大会にも出演してくださったりと、充実した老後を楽しんでいます。

「ゲーム部」では、囲碁・将棋・麻雀など、それぞれ上手な人が指導者と

（3面に続く）



誰もが笑顔で暮らせる地域づくりを目指して

西保健康福祉総合センター
所長 音田 佳美

春暖の候、西区老人クラブ連合会の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、貴会の皆様には地域の福祉向上や安全安心な社会のために様々な活動にご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、AIの進化などにより、私たちの生活は劇的に便利になりましたが、その一方で人とのつながりが希薄になってきているように思えます。だからこそ意識して「誰かと関わる時間」を持つことが、身体と心の健康を支える大切な習慣になると思います。気の合う仲間との運動、地域の集

まりへの参加など、どれも心を和ませ、明日への活力となる大切な機会です。

また、いくつになっても新しいことに挑戦する「少しやってみようかな」という気持ちは、それ自体が心と脳の若さを守る力になります。習いことや運動はもちろん、家の中の小さな工夫や趣味の再開など、どんなスターでも構いません。今日のその一歩が、自分らしい明日につながります。

西区では令和8年度から12年度までを計画期間とする「堺市西区基本計画 暮らしキャンパス」とともに描く「西区の未来」を策定しました。健康習慣の定着、子育て環境の充実、安全安心の確保、魅力の共有の4つの基本方針を掲げ、年齢を問わず誰もが健康で安心して暮らし続けられる地域をめざして取り組みます。

これからも地域の皆さんとともに、人と人との温かなつながりを大切にしながら、笑顔あふれる日々を積み重ねていきたいと思っております。

鳳 (西区) 熊野・紀州 街道を歩こう

堺西区の歴史と伝統を訪ね、歩いてみよう。

堺西区の中心「鳳」から北へ「熊野街道」を歩く。この道はその昔「熊野」への参詣道で、別名「小栗街道」とも呼ばれ、

駅を出て100メートルほど歩くと、鳳の街中を南北に通っている道に出る。この道が「熊野街道」。

この道を北へ300メートルほど歩くと、和泉一の宮「景行天皇の子供」で天皇の命で東国遠征の

帰り、伊勢にて倒れ「大きな鳥」になって飛び立ち、降り立った場所がこ

こであることから、「日本武尊」を祀って「大鳥神社」と呼ぶようになった。本殿は古代神社建築のひとつ「大鳥造り」として有名。

お参りした後、元の熊野街道に戻り北へ。『石津川』を渡ってすぐの場所にある「当麻蹴速」と「野見宿禰」の力比べが相撲の始まりと伝えられている「石津神社」(7面へ続く)

へ。また「恵比寿様」も祀られており、1月9・10・11日の3カ月には賑わう。この神社から西へ歩くと「紀州街道」へ。

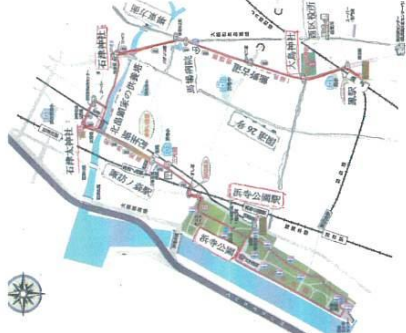
この道は紀州徳川家が参勤交代のおり使っていた道であり、大阪から紀州和歌山への幹線道路として発達した。

次は街道沿いにある「石津太神社」へ。この神社「えべっさん」の故事にちなんだ神事、火渡り神事「やっさいほっさい祭り」で知られている。ここから紀州街道を南へ。石津川に架かる「太陽橋」の南詰めに、南北朝時代の「南朝方の大将・北畠顕家」の供養塔がある。

このまま南へ歩いていくと南海線と交差し「浜寺公園」の北の入口へ。明治の初め、日本で最初の公園に指定されたそう

で、白砂清爽のすばらしい公園であったが、大阪湾の埋め立てにより昔の面影は無いが、交通遊園・ばら庭園・プールなどが作られ、松林も残っており、歩くにはもってこい。また、公園の正面から南海「浜寺公園駅」に向かうと、明治の西洋建築を取り入れたレトロな駅舎が残されている。一見かも。

(鳳校区 土居 通晶)



なつて教えていただき、特に脳活の麻雀は大人気で、牌の名前も知らないかったのに、今ではテーブルも4卓に増え、新春には「脳活麻雀大会」も開催することができました。審査員は男性の方々に、出席者25名の熱戦で、上位3名にはアメー袋ず

つと皆の盛大な拍手で祝福され、そのアメちゃんもみんなで分け合い、勝敗にこだわらず、さらに親睦が深まりました。「いいい部」の方も、新春カラオケで「大いに歌って、笑って、福来たる」で、楽しいひとときを過ごし、ささやかです。

が、みんなで、元気で、おしゃれも楽しみなながら100年目指してがんばっていければ嬉しいです。

(平岡校区親和会 塙 知英子)



平岡

新春初詣

前日の寒風もあり、今日は少し底冷えはしたが良い天気になり、午前9時に自治会館、そして9時10分に日産クルーゼ前に総勢31人の参加です。出発前に私から新年のあいさつをしました。また、各所からお菓子や飲み物の差し入れをいただきました。心よりお礼申し上げます。

いただいた差し入れを会員の皆さまにお配りし、一路泉佐野市に鎮座する日根神社に出発。約1時間後に到着し、本殿

にて参拝しました。由緒書きを参考に、少し略記ですが創建のいわれをここに記します。

伝承

(1)神日本磐余彦（神武天皇）が紀伊熊野から大和に入る途中、日根野の地に神を祭り戦勝を祈願したのがこの神社の始まり。

(2)神功皇后に助力し、共に帰ってきた神を祭ったのが溝口大明神（比売神社のこと）。現在は日根神社摂社で、この神社が

日根神社の始まりと言われます。

(3)樫井川流域を開発した日根造は新羅からの渡来人の子孫で、「神祇志料」にはこの日根造が日根神社の主神として祖先の億斯富使主を祭ったとされています。慶長7年の日根神社縁起由在来には「当社大明神八古三韓新羅國修明正覺王一天四海海之御太子二テ」とあり、この説を取っています。

(4)天武天皇の時代に大鳥神社より分霊を勧請し神殿を造ったのが始まりと言われています。



日根神社拝殿



日根神社本殿

祭神

境内にあるそれぞれの社に神が祭られています。

(1)日根神社の祭神は鵜草葺不合尊と玉依毘売命です。この二神は神武天皇の祖にあたり、併せて五瀬命・若御毛沼命（神武天皇）など四王子を祭ります。他に億斯富使主（日根造の祖で新羅より渡来）などを祭りま

す。比売神社は東上の溝口にあった溝ノ口大明神でいつのころか日根神社に移され、本殿と向かい合って建てられ「下の御前」と言われていました。祭神は大日靈貴命（天照大神）と素戔鳴尊です。

(3)来社として五社と十五の社を合祀した十五社があります。その社は天神・稻荷・賀茂・八幡・金比羅・愛宕・多賀吉野・春日・熊野・祇園・恵比須・安産・住吉です。

今回の神社初詣でまた歴史の調査が必要ですが、少し簡単に記すと、日根神社は紀元前663

（5面に続く）



年に神代神武天皇が当地において戦勝を祈願されたと伝えられ、白鳳2年（674年）に第40代天武天皇によって社殿が造営されて以来和泉国五之宮に列し、日根荘の総鎮守として格別の崇敬を集めてまいったそうです。長い歴史において焼失と復興を繰り返し、慶長7年（1602年）に豊臣秀頼によって現在の社殿が再建されて以降、およそ60年ごとに遷座祭が斎行され、大規模な修繕工事が行われてきました。

参拝を終え、次の食事処「休暇村 紀州加太」へ。少し早めに到着したので、展望台から海を眺めました。友ヶ島、淡路島まで一望でき、秀逸な景色でした。

食事処へ案内され、会長の新年のあいさつ、そしておしゃれな料理を前に親和会・鞍野氏の新春寿詩吟「宝船」を聞き、森田氏の乾杯の音頭で宴会が始まりました。料理長のお品書き通りの紀州和膳に舌鼓。ビールやお酒もふるまわれ、会員の皆さまは和やかな中ゆっくりにくつろがれました。

食事後、次の目的地である丹生都比売神社に向かいました。老人会長を10年もいたしますと、初詣の参拝する神社も重なることがあります。今回の丹生都比売神社も平成30年1月9日に参拝していることから集合写真を撮影。その当時を思いながら1200年前、真言密教の根本道場の地を求める弘法大使の前に丹生都比売大神の御子神である高野御子大神が白と黒の犬を連れた狩人に化身して現れ、この白と黒の御神犬により弘法大使は天野の地へと導かれ、丹生都比売大神より神領高



丹生都比売神社

野山を授けられて以来、当社は高野山の総鎮守真言密教の守護神として高野山と密接な関係にあり、高野詣においては、片参りとならぬよう当社も参拝するのが高野山開山以来の習わしです。

平成16年に、神と仏が共にある日本の祈りの始まりの地であり、今なおその信仰的景観が守られ続けているとして、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録されました。

参拝を終え一路帰路に就く途中、会員の皆さまが大変楽しみ



にしているビンゴゲームを実施しました。

今回はいずれも由緒ある神社にお参りできましたが、2社の参道は高齢者にとっては少々配慮が少ない道路であったことから、宗教法人だけでなく行政からの支援は難しいが、砂利などの現物支給もあり、特に神社関係には特別な感情をお持ちの方々が多くおられることから、クラウドファンディングの利用も検討したら良いのではないかと思いました。

（平岡校区 山本真太郎）

鳳

マフラーを作ろう

鳳校区自治連合会の会議後に、鳳校区青少年指導委員さんより声を掛けられました。「手芸を子どもたちと一緒にやりたいから、教えてくださる方を紹介してほしい」とのことでした。

手芸、洋裁をされている方々に相談したところ、毛糸を編まれる方に了解していただくことができました。

令和5年5月12日に鳳小学校の体育館で第1回目の打ち合わせをするこ

とができ、6月25日も鳳小学校の体育館で、7月8日は野田会館で、7月23日は大鳥会館で、それ以降は鳳教養子育て会館で打ち合わせを行いました。

2年8カ月、月1回か2回の割り合いで続けて今に至ります。

小学校4年生以上（男女問わず）および保護者も可というこ

とで、1人で参加される方、友人と2人で、子どもとお母さん、お父さんと、姉さんが参加するので保育園年長さんと、参加者1人の時もあり、7・8人の時もあります。

会場は、青少年指導委員の方が早くから設営をいただいています。老人クラブの方も日曜日の午前10時から1時間、6人の方たちが都合をつけ応援してくださっています。

子どもの時に教えても



らった人、家族の洋服やセーターなどなんでもできる人、初めて編棒を持たれる人、いろいろな方がおられます。

登下校の見守りにご協力されている地域の老人クラブ会員さんと、編み物を通して気軽にあいさつ、会話ができる環境を整え、更に強固にしていきたいら良いと思っています。

（鳳校区 あゆむ会

兵藤トミニ）



会
員
文
芸

俳句

春よ来い夫のぬり絵の色優し

向丘校区 高橋 寿美

良きことの証の如く梅凜と

向丘校区 横山 芳子

春立ちて美^はしき季節は始まりぬ

向丘校区 竹澤 信子

咲き揃うバラに酔ひたる声のして

浜寺昭和校区 宇佐見茂子

川柳

妻逝つて遺影に向い独り言

浜寺昭和校区 若竹 泰司

シニア割証明忘れた顔パスで

若づくり歩く姿はおばあさん

浜寺石津校区 磯山八重子

孫二人合格祈願神社へと

今年また良き年祈りくじを引き

浜寺石津校区 矢上富美子



寒い夜ゴミ捨て空は光る月

浜寺石津校区 月本富士子

宝くじワクワク気分が夢と消え

浜寺石津校区 浜川スツ子

晩ご飯冷凍もんでチン二つ

浜寺石津校区 藤村 秀夫

短歌

自覚してフレイル予防取り組めば

明日^{あした}になく健康寿命

浜寺昭和校区 山中 敏子

若き頃誕生日より早く来い

喜寿迎えし今遅く来い

浜寺昭和校区 木本 道夫

さよならは再会期する言葉なり

いつの日会へるきみとふたたび

浜寺昭和校区 辻 光

小春日に白雲二つふはと浮き

青々と空広ごりにけり

沈丁花つばみふくらみ待ちあぐむ

春やはらかな風のそよぎを

浜寺校区 真鍋 泰子

山肌を熟柿ともし幾重にも

重なる山はよろこびの顔

鳳校区 上田 雅子



脳活の麻雀楽し夢の中

ロンやポンやでまたつもったわ

卒寿すぎこれも脳トレカラオケと

声はりあげて迷歌手気分

平岡校区 塙 知英子

日本からパンダはいなくなるけれど

パンダすみれの名前残せり

あの家も又この家も取り壊し

変わりゆく町変わりゆく人

甲子園球児の熱戦応援す

遺影の夫とテレビの前で

春うらら桜満開今年また

娘と歩く土手の散歩道

たんぽぽにからすのえんどうほとけのざ

道行く人に春を告げおり

浜寺石津校区 簗内 豊美



◆原稿募集

本紙では会員皆さまからの投稿を募集しています。クラブ活動報告の他、随想、紀行文、体験談、文芸作品（俳句・短歌・川柳）などお気軽にご投稿ください。また、写真などの資料があれば同封ください。

次号発行は10月のため、原稿締め切りは8月28日といたします。原稿には、お名前、電話番号、堺市西区〇〇校区と必ず明記してください。

【投稿先】

左記の宛先まで、もしくは各校区の校区長を通してお送りください。

〒546-0043

大阪市東住吉区駒川5-4-11 201

(株)博報社

『西区老連すこやか老友』編集係

☎ 06-6797-0212

FAX 06-6797-0479

◆ご協賛各位への御礼

本紙の発行にあたり、ご協力いただいたご協賛各位に厚く御礼申し上げます。今後も本紙は会員の生きがい・健康・教養を高める一助になるよう内容の充実に努めますので、末長いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

西区老人クラブ連合会